

皆が自分らしく生きることのできる社会へ



定期総会から (左)開会礼拝での菊地師の説教 (中)委嘱状を受けたリーダーたち (右)会員の集いでの梶原氏の講演



定期総会に出席した皆さん(総会閉会后に撮影。このほかに数名の方が途中退席された。)

千葉 YMCA ニュースボード
2024年7月1日 第298号
<https://www.chibaymca.net/>

YMCA 定期総会 学びと交わりの半日

今年度の千葉 YMCA 定期総会を6月22日午後、千葉センターで開催しました。

開会礼拝で菊地信行師(日本キリスト教団西千葉教会伝道師)は「ひとりが変えられると」と題して説教をなされ、会員・職員一人一人が YMCA の担い手となることを奨励されました。この礼拝の献金 19,690 円は能登半島被災地支援に捧げられました。

会場に出席の会員23名に委任状提出62名あり総会は成立。昨年度の事業・決算報告を承認、今年度の事業方針・計画案と予算案は提案どおり可決承認されました。議事の詳細は配布の資料をご参照ください。

議事に続き、ボランティアリーダーへの委嘱状交付があり、出席の3人のリーダーがそれぞれ決意を表明されました。今年度のリーダー委嘱はこの3名を含め 27 名です。

総会後半の「会員の集い」は、講師としてお招きした梶原隆之氏(文京学院大学人間学部人間福祉学科教授)から、「子どもと関わること」と題して講演いただきました。氏は東京 YMCA 職員、中学校教員、児童養護施設児童指導員の経験をお持ちで、「リーダーや指導者の関わりが子どもの将来にどう影響を与えるのか」「子どものやりたいことだけをプログラムにするのは必要十分か」「人をコントロールすることが指導なのか」という切り口から、ご自身の関わられた実例を紹介され、学問的な裏付けをもって話を進められました。

最後、「我々はどうのような思いで子どもと関わればよいのか」の提言で、

- うそはばれる。
- 本気で関わることの大事さ
- 子どもは、一人の大切な人間であって、未熟な大人というのではない。
- 関わり方の積み重ねが、将来のコミュニケーション力、生き方、考え方に影響を与える。ーと結ばれました。

講演を前列で聴いた11人のリーダーたちも、後列の年長者たちも、これからの活動に沢山のヒントを得て、キャンプソング「ね」を唱和しました。

◆能登震災支援の状況

元日の震災発生直後から YMCA は救援活動を行ってまいりましたが、被災者の仮設住宅への入居が進み、避難所が閉鎖の方向となりましたので、全国の YMCA からの職員派遣協力は終了しました。

今後は仮設住宅でのコミュニティプログラム提供、富山 YMCA が行うリフレッシュキャンプなどを支援して参ります。(同盟 HP 参照)

◆YMCA 夏キャンプ受付中

千葉 YMCA の夏キャンプは好評受付中です。HP をご覧ください。

- 千葉センター 043-222-3811
 - 船橋地域デポ 047-425-6366
 - 千葉市少年自然の家 0475-35-1131
 - 千葉市立千城台みらい小学校アフタースクール 043-236-1701
 - 千葉市立坂月小学校アフタースクール 043-236-5550
 - 千葉市立千城台東小学校アフタースクール 043-237-7376
- ニュースボード編集: 青木一芳(理事)
メール kkaoki@myad.jp